

様式第3号

会 議 録

会議名 (付 属 機 関 等 名)		川西市産業ビジョン推進委員会	
事務局 (担 当 課)		市民環境部 産業振興課	
開催日時		令和4年8月12日(金) 午後3時～午後5時	
開催場所		Web 会議システム形式と対面形式の併用 (場 所 : 川 西 市 役 所 4 階 庁 議 室)	
出席者	委員	佐々木委員長、吉田副委員長、時任委員、山本委員、木原委員、辻田委員、野原委員、西村委員	
	オブザーバー	藤重氏、向井氏	
	事務局	市民環境部岡本部長、人見副部長、 産業振興課山口課長、大島課長、田中主査	
傍聴の可否予定		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1. 開会 2. 委員照会 3. 議事 (1) 推進状況の報告 (2) 意見交換 4. 閉会	
会議結果		別紙 審議経過のとおり	

審 議 経 過

事務局	<p>1 開会</p> <p>定刻になりましたので、ただ今より、令和4年度川西市産業ビジョン推進委員会を開催いたします。</p> <p>私は産業振興課産業ビジョン推進担当課長の大島と申します。</p> <p>今年度はWeb会議システム形式と対面形式の併用での開催とさせていただいております。Web会議システム形式では、佐々木委員長と辻田委員、オブザーバーの川西市商工会の藤重次長がご出席いただいております。ご発言の際はミュートを解除していただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、辻田委員とオブザーバーの高瀬様が対面でのご参加を予定しておりましたが、急遽、辻田様はオンラインでのご参加、高瀬様は欠席となりましたのでご報告いたします。</p> <p>では、開催に先立って、オンライン会議システムでの参加及び通信の確認を行います。オンライン形式で参加いただく委員は、会議開始前に「映像及び音声により委員本人であること」、「会長及び委員相互間での映像及び音声の即時の相送受信が適正に行われていること」の2点について、確認を取っております。</p> <p>次に本会は、会長と委員8名のご出席をいただいておりますことをご報告いたします。</p> <p>また、参画と協働のまちづくり推進条例に基づき、2点お伝えいたします。</p> <p>本日の会議は、傍聴席を設けまして、公開のもと行って参ります。</p> <p>なお、会議録の作成のため、当会議を録画・録音いたします。会議録の作成後には速やかに削除いたしますのでご了承をお願いします。</p> <p>それでは、お手元の資料のご確認をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">< 資料確認 ></p> <p>2 委員紹介</p> <p>続きまして、次第2の委員のご紹介に移らせていただきます。</p> <p>令和4年4月1日付で川西市産業ビジョン推進委員会規則を改正し、委員構成の変更及び新たに副委員長とオブザーバーを設置いたしました。委員任期は令和4年4月1日から2年間となっております。本来、ご参集の場で委嘱状を交付するところ、第1回の会議開催が本日となったことから、事前に委嘱状はお送りさせていただきました。</p> <p>それでは、次第の裏面の名簿順にご紹介をさせていただきます。</p> <p>今回から新たに委員としてご参加いただきます吉田様と西村様からは、皆様のご紹介の後、ひと言ご挨拶をいただければと思います。</p>
-----	---

	<p style="text-align: center;">< 事務局から委員・オブザーバーのご紹介 > < 新委員あいさつ ></p> <p>続きまして、事務局の出席者をご紹介いたします。</p> <p style="text-align: center;">< 事務局のご紹介 ></p>
<p>委員長</p>	<p>3、議事</p> <p>それでは、議題の進行に移らせていただきます。 では、当ビジョン推進委員会規則第7条第1項の規定により、委員長に議長を務めていただきたく存じます。佐々木委員長よりお願いいたします。 では、議長として進行をさせていただきますが、今回オンラインでの出席となりましたため、進行について副委員長にお願いしたいと思います。 吉田副委員長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>副委員長</p>	<p>委員長からご指名いただきましたので、進行をさせていただきます。よろしく申し上げます。会議中、委員の皆さまからのご発言の際には、挙手いただき、こちらから指名させていただいた後にご発言をお願いいたします。オンラインで参加の方は、挙手いただき、マイクをオンにしてご発言をお願いいたします。 また、会議は5時までを予定していますので、円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。</p>
	<p>議事（1）推進状況の報告</p> <p>議題（1）推進状況の報告について、資料1、2が提出されています。 産業ビジョンの策定の経過としては、令和元年度に「川西市産業ビジョン」を策定し、令和2年度にはさらに「ポストコロナを見据えた地域経済対策」を追加いたしました。 それらの取組状況を資料1として、また、本ビジョンに関連する令和4年度新規事業の概要を資料2として事務局で取りまとめています。項目が多岐にわたりますので、主には令和3年度の取組として特筆される部分と、令和4年度から新たに開始した事業などについてご説明をいただくことといたします。 また、後ほど意見交換の時間も設けさせていただきますが、時間も限られておりますので、会議終了後に「ご意見・ご提案シート」を事務局に提出いただけましたら、皆様に共有いたしますので、よろしくお願いいたします。 では、事務局から資料に基づいて説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;"><資料1、2について説明></p>
<p>副委員長</p>	<p>ご説明をありがとうございました。後ほど、意見交換をさせていただきますが、まずは資料1、2について、ご質問はございませんか。</p>

委員	<p>資料2 基本方針4の労働力率の測り方を教えていただければというのが1点と、資料2の1ページ目の「コワーキングスペース開設支援事業」について、市役所地下1階にもコワーキングスペース的なところができていますが、その位置付けについて教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>まず1点目の労働力率については、該当する年齢の就業者、休業者、完全失業者を合わせた労働が可能な人口をその年齢の総人口で割って算出しています。</p> <p>次のコワーキングスペース開設支援事業についてですが、市役所地下1階のスペースに関しては、市民の方のロビー的なスペースとしての位置付けです。本事業で開設したコワーキングスペースに関しては、コミュニティの形成や、起業家の支援等を重視して運営されていますので、その点ですみ分けがされています。</p>
委員	<p>資料1の1ページ基本方針の評価指標で「自分の仕事に充実感がある市民の割合」が、令和2年度に高くなっていて、令和3年度には下がっています。この傾向をどう分析、解釈されているのか教えていただけないでしょうか。また、この数値は、すごく高いように思えますが、他自治体と比較してどうかというところがあればご教示いただけないでしょうか。</p>
事務局	<p>本調査は、市民実感調査として川西市独自で行っているものですので、他市町との比較というのはいできないもので、仕事をしている人の内、充実感が「ある」と「どちらかというところある」を足した結果です。この数値が5%ほど下がっていますが、この調査のどこまでを誤差として見るかといった問題もありますが、検証をしてみたいと思います。</p>
委員	<p>資料1の2ページ以降の評価基準となる「実績」について、前年は回答者数だったものが、今年度は会議の開催件数となっている等、基準がずれているように感じます。各年度の事業実施状況の中で、実績を合わせる事が難しかったのかなとは思いますが、実績の単位を合わせることで、各年度の評価がしやすくなると思います。</p> <p>もう1点、例えば2ページ下から2番目の「道路空間のにぎわいイベント活用」について、実績値が昨年度の4件から14件へ大きく上昇しています。これだけを見ますと、成果が3倍近く上がっていますので、「 」でもよいかと思いますが、評価根拠を教えてくださいませんか。</p>
事務局	<p>1点目については、2ページの中央あたりの「オンデマンドモビリティ等の交通手段の検討」の部分かと思います。令和2年度はアンケートを実施し、令和3年度はアンケートを実施していないため、比較ができないことから会議開催回数となりました。継続的に議論をしてきた点を評価しているという形になっています。基本的に同じ数値で比較するべきところですが、このような経過となっています。</p> <p>2点目の評価の仕方については、この項目は、開催条件等の調整も含めて評価をつけているため、今回は「 」としています。確かに回数はかなり増えており</p>

委員	<p>ますが、令和3年度にはできなかったこともあることから評価としては「 」にしています。にぎわいづくりとしては、徐々に拡大定着していることから「 」に近い「 」と認識しております。</p>
事務局	<p>資料1、1ページ目の目標値は、令和9年度時点での数値なのか、基準年度からの累積値なのかを教えてくださいませんか。</p>
委員	<p>原則的にはその時点での数値です。ただし、起業セミナー受講者の起業者数は、ある年度の参加者が数年後に起業するという性質があることから毎年度の累積の数値になります。</p>
事務局	<p>コワーキングスペース開設支援事業の項目で、「中心市街地活性化事業と連携した支援を行う」といった記述がありますが、具体的にはどのような連携を考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>また、シェアリングエコノミーの項目について「事業化に向けて検討中」とのことですが、検討の経過や方向性がわかれば教えてください。</p>
事務局	<p>最後に「SNS等を活用した魅力発信」についてですが、なぜ令和2年度にSNSアカウントを一時停止させたのか教えてくださいたいと思います。</p>
事務局	<p>ご質問の1つ目のコワーキングスペースで中心市街地活性化事業と連携した支援ですが、中心市街地活性化協議会で、何らか会議をするときに利用したり、近隣のキーになる方たちと集まって、そこでまちづくりに関するセミナーを開催したり、そのような形で活用しています。</p>
事務局	<p>次のシェアリングエコノミーについてですが、当時、産業ビジョンにシェアリングエコノミーに関して記載した時点から、どのように事業化するかは難しいところでした。シェアリングエコノミーの定義自体が、スキルや物を共有して経済を回しましょうという点で広範な理解ができるものであります。例えば、現在藤ノ木さんかく広場でキッチンカーが出店していますが、これは市有財産をシェアしていて、そこで経済が回っているという意味ではシェアリングエコノミーの事例として理解できるものであり、実際にはすでに様々な取組がされていますが、市の一つの事業としての形成には至っていないというところです。</p>
副委員長	<p>また、先ほどのSNSを活用した魅力発信のところですが、これまで市が運用しているSNSがFacebook、LINE、Instagramとあります。それぞれに運用がされてきており、活用の仕方が明確にならなかったためInstagramを一旦休止しているところです。どのように使っていくべきなのかを、昨年度に策定された広報戦略で検討し、今年度以降運用しています。</p>
副委員長	<p>それでは、ご質問は以上とさせていただきます。次の議事に移らせていただきます。</p>
副委員長	<p>議事(2)意見交換 意見交換にあたりまして、オブザーバーの皆様から、それぞれで把握されてい</p>

<p>長 オガザ バ-</p>	<p>る産業の概況や課題をご紹介いただければと思います。限られた時間で申し訳ございませんが、5分程度でご紹介をお願いします。</p> <p>商工会では昨年度までは毎月の景況調査をしていましたが、令和4年度より四半期ごとにとっております。また、6月と7月分は独自で調査したものがありますので、それをもとに市内の動向についてお話をさせていただきます。</p> <p>一般的には、ウクライナ情勢の影響でコストの上昇が続いています。加えて7月に入り、コロナの感染者が急増したことが市内の景況感の足を引っ張っているというような形で推移しています。エネルギー関連、食品関連等の市民の身近な物品、サービスに対する価格高騰により、消費活動が活発化しようとしていたところをコロナ拡大が妨げているというのが、全般的な状況だと思います。</p> <p>次に製造業、建設業、商業サービス業の三つに分けて、もう少し具体的にご説明させていただきたいと思います。</p> <p>製造業は、急激な円安とウクライナ情勢、中国のロックダウン等の影響で、原材料等の供給不足等で減産を強いられていたのが、6月に入り、受注が緩やかに回復基調に動き出した状況です。特に機械製造業等では、回復基調が出ており、その傾向が継続しているところが多いです。ただし、受注は増えているが、原材料高騰の不安による「先食い受注」という形で一時的に増加している事業者もありますので、先行きが懸念されるところでもあります。また、自動車関連の工場では、6月の自動車の販売台数が中国のロックダウンや生産物流の停滞により伸び悩んだ影響で、自動車部品の増販増産にはなかなか至りませんでした。7月に入って緩やかな回復基調が続いています。製造業全体では、少しプラスといった状況になっています。</p> <p>次に建設業では、リフォームの需要が緩やかに増加しております。ただし、ウクライナ情勢や原油高に加えて、木材・鋼材・塩化ビニールのパイプ等の原材料等建築資材の輸入価格が円安により高騰していることもあって、利益が圧縮されているのが懸念材料です。受注高については緩やかですが、上がっております。</p> <p>一方、サービス業は、4月以降行動制限の緩和により人流が増加傾向で、個人向けサービス業や飲食業も緩やかに持ち直していたんですが、7月に入ってからコロナ感染者急増により夕方から夜間にかけての人流がかなり減ってきており、特に外食店、居酒屋等では来客数が大幅に落ち込んでおります。</p> <p>また、食品メーカー等の生活必需品の価格が上がってきており、1人当たりの買上げ件数が落ちてきていることをスーパーやコンビニから聞いており、若干売上げの減少に繋がっています。</p> <p>今後も小売業、サービス業ともに、相次ぐ値上げで消費者の心理的な冷え込み、どうしても節約志向が高まると思うので、売上高の減少が懸念材料になってきます。原材料費の高騰等のコスト高を上手に価格転嫁ができていない小規模事業者がたくさんいますので、コストが上がって、利益を圧迫してるというのが市内の</p>
-------------------------	---

<p>副委員長 オブザーバー</p>	<p>事業者の状況と思います。</p> <p>ありがとうございました。次のオブザーバーの方からお願いします。</p> <p>今年より、タウンマネージャーを拝命しております、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、マクロ的な視点で言いますと、起業、兼業に対する考え方が、コロナからかなり変わってきていると感じます。私個人がコーヒーの焙煎を教えているのもあり、起業家が集まってくるところで活動しておりますが、よく感じるのが、給付金等が多いために、個人資産は増えているように思います。</p> <p>その中で、先ほどの質問にあがっていたシェアリングエコノミーについて、実際に不動産遊休地というのが各地で出ております。その不動産遊休地を管理会社がどうしてもこの値段で貸したいというのは実は無いんです。敷金や家賃を下げてでも借りて欲しい、或いは地域の中で使っていただけるのであればそれでいいという物件がサステナビリティの観点から出てきています。吹田市や川西市の多田でやっておりますが、シェアストアを格安で使っていただくという仕組みを中心市街地に持ち込んでやっていきたいという思いがあります。</p> <p>また、まちなかのにぎわいや、他市から観光収入を得るという観点からみると、川西の中で商店街が非常に少なくなっていると思います。例えば、市役所前の銭湯のある通りにはたくさん個店がありました。その頃にはにぎわいがありましたが、大きな商業施設ができたりして、小規模なお店が減ったことで面白みがなくなっているように思います。起業する人を支援して営業場所を確保したり、レンタルやシェアリングで一歩踏み出すきっかけを作る必要があると思います。</p> <p>先ほどもお話がありましたが、スーパーの業態はコロナになってから大きく変わりました。現在、円安、物価高によって、高いものを買わざるをえない状態になっています。この中でできることとして、スーパーの目指す方向性として、高単価に進み、高級スーパー化していくという戦略をとっています。一方で、小商店では、安く提供することが普通になっています。そういった小規模事業者も高品質な事業を進めていくというのも、中心市街地でやっていけたらと思っています。</p> <p>このような状況を踏まえて、中心市街地活性化協議会のタウンマネージャーとしての役割をお話したいと思っています。</p> <p>一つは、中心市街地付近での起業や事業拡大の相談を行っています。基本的には小売業の相談が多いんですが、仲卸を経由してのスーパーへの卸しの導入に向けて今年は動いております。また、キッチンカーでの起業を教えることも考えています。出店場所や食品の鮮度の問題、キッチンカーの準備等の技術が必要です。そういったことを教えながら、キッチンカーをシェアリングすることで事業化していくという事業の相談にも乗っています。</p>
------------------------	---

副委員長 委員	<p>2点目が先ほどの市役所西側の銭湯のある通りについてです。この通りに大阪の中崎町のような商店のにぎわいをつくり出せればと思っております。まずはその必要性を検証しなければならないので、元々あった小商店が今の位置に復活してどうなるのかの検証を本年度しています。</p> <p>翌年以降はシェアストアを実際に準備してやってみながら、観光的にも流入があるようなエリアにしていきたいと考えています。</p> <p>続きまして、事務局、オブザーバーの皆様のご紹介をもとに、産業ビジョンの推進や経済活動の活性化に向けた意見交換をお願いします。</p> <p>今ご紹介いただいた話は、中心市街地や南部の話が多いと思います。北部エリアで見ますと、高齢化が進んでおり、外出自粛や交通構造の影響で巣ごもりされてらっしゃるご年配の方が多いです。今まではスポーツクラブがコミュニティの場になり、ネットワークコミュニティが確立されていたものが、コロナの影響によってコミュニティが崩壊してる部分もあります。そういった意味では行政がコミュニティづくりをするのではなく、民間事業としても寄り添う必要があると感じています。お客様同士の交流を民間からも支援していきながら、行政レベルでも外に足を運んでもらえるようなきっかけ作りをしていく必要があるんじゃないかと感じています。</p>
事務局 委員	<p>また、産業ビジョンに書かれているそれぞれの事業の連携や、どのように紐づいていて、目標に貢献しているのかを示す作業が必要じゃないかと感じました。</p> <p>お客様同士のコミュニケーションは、非常に大切だろうと感じます。それがあから施設にファンが増えるっていうことに繋がってくるかと思うので、何らかで行政としてもプラスになるような動きができればと思います。</p> <p>事業の紐づけについてはできることだと思いますが、仮に紐をつけたときにそれが何なのかというところが打ち出せる状態にまで産業ビジョンがあまり知られていません。例えばSDGsの場合でしたら、色分けと番号の体系があり、初めから非常にわかりやすくされていますが、そこまでのレベルに至っていないというのが現状です。</p>
事務局 委員	<p>今のご意見に関してですが、市が支援して開設したコワーキングスペースの活用についてどんなことがあるかと考えていました。令和4年度は新規の募集は無いということでしょうか？</p> <p>そのとおりです。</p> <p>継続的な支援はもちろんですが、その他の市内でコワーキングスペースを開設している事業者への支援も必要なのかと感じました。</p> <p>また、先ほどの事業の紐づけに関しては、例えば経営革新計画への補助金等、私自身知らない事業がいくつかありました。業務負担の兼ね合いもあると思いますが、できるだけ市民の方に見ていただきやすいような資料を作成する必要があります。表や図式化したマップ形式で、基本方針との紐づけがわかりやすいもの、</p>

事務局	<p>そこを辿っていくと、自分の関心のある補助金とか助成金とかをたどっていけるものがあつたらいいなと感じました。</p> <p>コワーキングスペースについて、職場以外の仕事をする場所としてのものが昨年度に近いタイミングで増えているところです。兵庫県でコワーキングマップを作っているとのことで、各施設のホームページの情報を拝借して提供しており、PRをしていきたいと考えています。</p> <p>また、令和3年度のコワーキングスペースの支援としては、3年間継続して県の補助と共に賃料を補助し、金銭的な支援は終了することになります。この意図としては、この期間に地域に根付き定着していただきたいということで、その後は民間の事業として自立していただくという前提になっています。</p> <p>市の補助金事業のPRについては、各制度を1枚にまとめたチラシを作り、年度当初に商工会を通じて配布や配架、ホームページに掲載などPRには努めています。ただ、目に止まり、その人の興味関心が一致するところまでチラシでは至らないというのが現状だと思います。基本的にはその事業者さんに関係する土業の方や商工会の方にはご協力いただいてPRしていきたいと思います。</p>
委員	<p>ポストコロナを見据えた地域経済対策というところで、新事業をしていただいたと思いますが、コロナ禍では実施が難しかったものが気になりました。その中で評価として継続するのか辞めるのかを振り返ってもいいかと思います。その上で新規事業をするかどうかを検討することが、現場の皆さんの業務量にも影響するかと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいた通りで、市ではコロナにおいても可能なものと判断して設置した事業として商業者団体等集客事業補助金です。この事業は従来、商店街団体の夏祭りイベントのようなものに補助をしていたものを再構築したものです。意図は人が集合するようなイベントではなく、買い回りを促進するような形に転換しました。ですが、このようなイベントを企画する人が、ご自身の商いを維持することに精いっぱい状況が続いており活用に至っていないと認識しています。また、経営革新計画の補助制度については、コロナ禍が長期化することで国の支援策が形を変えながら充実したものが継続されており、市レベルの支援策として、簡便な形で実施しましたが届かないという面があります。その中で、昨年度実施した事業力向上対策補助金があり、補助上限50万円、市内事業者からの調達は補助率が2/3とかさ上げして実施し市内で循環するような形をとりました。市内の事業所同士の取引も増え、事業者の日常の経営改善のニーズにつながる活用をしてもらえたと思います。</p>
副委員長 事務局 委員	<p>現在のところは、事業を継続する方針ということでよろしいでしょうか。</p> <p>その通りです。</p> <p>二つほど思ったことがあります。コロナ禍の現在に注目することも必要なので</p>

事務局	<p>すが、2、3年先を見据えた時に、川西のまちの大きな変化をどのようにとらえられているかを知りたいと思っています。例えば大型物流センターができるというニュースを見て大きなインパクトがあると見ています。具体的な影響はわかりませんが、人の動きができたり雇用が増えたり、大きな変化があるんだろうなと思っています。そういう出来事に合わせながら、事業を考えていくことも必要としました。</p> <p>もう一つは、コワーキングスペースやシェアストアといった使える場所が結構存在しているし増えていく状況にあるんだろうと思っています。イズミヤ多田店にも、市民に開いたにぎわいづくりをやっています。ただ、それぞれの存在が、実際は市民まで届いていない。プレイヤー側に回る人にもっとメッセージが伝えられればと思います。例えばキッチンカーでは食べる人が増えたり、お店をやりたい人や、コワーキングスペースでイベントをしたい人といった、プレイヤー側をもっと増やせると思うんですね。そういう情報がまとまっていないのだろうと。こういった伝えることが面でできないかと思っています。特定のことを市として発信するのは難しいですが、「コワーキングスペースができました」ではなくて、新しいことをしたい人に向けて「こういう可能性がありますよ」みたいな形で見せることができないかと色々なものがあるだけに思います。そこに具体的にスキルを付けたい人は起業塾とかに紐づけることができますし、これだけある事業に人をフィットさせることができれば全体としていい形になるかと。これをいかに届けていくかというところです。SNSや広報も聞かせてもらったのですが、大きな変化を捉えながら、全体の流れを作ることができればと考えます。可能性があるので整理したいと思いました。</p> <p>二、三年後の大きな変化で言うと、市の北部や石道地区に大型物流センターができることで、雇用や車の量で大きく動きがあるんだろうなと思っています。例えばロードサイド店が増える等の想像はしているところです。</p> <p>市立病院が南部に移転して9月から診療開始します。働く人員は1,000人ぐらいいるそうなので、もし徒歩で通勤する方が増えれば、当然買物をする方も増えるイメージはあります。</p> <p>また、市が実施している事業の意味合いについては、タウンマネージャーとの打ち合わせの際にも話題が上がっています。プレイヤーの方たちに市がしていることの意図をお伝えする場が必要だと感じています。その先市民の方にどういふふうに繋がっていくかというところは、広報紙に特集を掲載しても、関心のある人や広報紙をよく見る人にしか届かないのが実情です。そのあとはいかに自分ごと化できるかです。例えば隣の人や友達が言っていたという繋がりの中で広がっていくものだと思うので、こちらからは丁寧に発信し、面白いことをやっているなどと思ってもらえるような事業を組んでいくことが大事だと感じています。</p> <p>また、この先産業ビジョンは、総合計画が来年度改定を迎えますので、それに</p>
-----	---

副委員長 委員	<p>応じて何らかの変更を加えていく必要は感じています。これに合わせて事業をどうしていくのかを来年度、検討することになるかと思しますので、形が見えてきましたら産業ビジョン推進委員会でご相談させていただきます。</p> <p>それでは時間も経過してまいりましたので、まだご発言いただいていない方からお願いします。</p> <p>能勢電鉄の現状を説明いたしますと、乗降人員については、去年に比べて少し回復しました。ただし、コロナ前と比較すると20%程度下がっている状況です。4～6月は比較的良かったんですが、その後のコロナの急拡大もあって7月はまた悪くなっている状況です。乗降人員が減少すると当然、地域に落ちるお金も減っていると思います。</p> <p>逆に申しますと地域に足を運ぶ方が増えるほど、乗降人員が回復すると思いますので、今後とも協力できることには積極的に関わっていきたいと思っています。</p>
事務局	<p>また、2025年に万博があります、それに関連して市としてできる取組をしていただきければと思っています。</p> <p>万博については、兵庫県から会議に出席を求められたりはしておりますが、まだ市が行うことについて具体的な検討ができていない状況ではありません。ご意見をいただけましたら参考にさせていただきたいと思えます。</p>
副委員長 委員	<p>委員の皆さま、ご意見シートでご提出いただきますようお願いいたします。続いて、委員から一言お願いします。</p> <p>今日初めて参加させていただき、川西市の産業関係の事業がたくさんあることに驚きました。ポストコロナということで、これから5年変わることがあると思います。特に市の北部では特に巣ごもりしている高齢者の動きが大きく、コロナの感染が広がると道路が空いていると感じます。この動きが産業ビジョンに影響することもあると考えます。高齢者にも起業という道が開かれるといいと思います。また、中心市街地での商店街のにぎわいが必要かということも考えるべきと思えました。無くなってきた経過がありますし、やはり欲しいとなるかもしれません。</p>
委員長	<p>加えて、中心市街地のにぎわいも大事ですが、市の中部・北部の状況を見てみると、高齢化や交通状況からは宅配での買い物の重要性も感じています。</p> <p>委員の皆様、貴重なご意見、積極的な意見をたくさんいただきありがとうございます。多種多様な施策をいかに市民の方々に周知していくかというのは難しい課題です。「ビジュアル化」が、今日より重要になっていると感じます。各事業がどう結びついて、市の産業全体を支え、推進しているのかが見えてくるのではないかと思います。市でも、わかりやすいマップのようなものを作っていたければ、産業ビジョンの内容がより伝わるのではないかと思います。</p> <p>また、今回事務局からいただいた報告の内容が、産業ビジョン全体の中で、ど</p>

副委員長	<p>の過程にあって、どのような位置にあるのかと問われていると改めて思いました。事業評価においては、数値目標を非常に重視しがちですが、それとあわせて、全体の柱を一つ一つ精査しながら、何ができていて何ができていないのか。サンセット等も見据えながら、全体の総括を行うことが重要になってきているように感じました。コワーキングスペースというキーワードがたくさん出ていました。そして起業セミナーに多くの方が参加しています。そういう方向性が見えてくるのではないかと考えています。コワーキングスペースでのコミュニケーションという社会的な位置付けが、産業振興に役立っているという点が一層明確になったのではと思います。</p> <p>川西市は地域の方に、住みよいまちだという認識がありましたが、暮らすことと地域の産業が一体になっているということを改めて認識しました。</p> <p>私自身はマーケティングが専門ですが、市場創造に関心を持っていて、起業家の意思決定なんかも研究対象としています。新しい取組を行う際、様々な余剰資産を活用していくことが非常に大事になってきますが、川西市はスペースや補助金、事業者や地域の方々の知見等を活用してつなげるとすごく良くなる可能性がある地域だと認識をいたしました。</p> <p>それでは会議の進行を事務局に帰させていただきたいと思います。皆さまご意見をいただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局に交代させていただきます。</p>
事務局	<p>4、閉会</p> <hr/> <p>吉田副委員長、会議の進行をありがとうございました。会議のたび、ためになるご意見をいただいております、大変勉強になります。ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、たくさんのご議論をいただき誠にありがとうございました。</p> <p>また議事録は、事務局で作成し、委員長にご一任するかたちとさせていただきます。たく存じます。</p> <p>会議の進め方を含めて、本日お時間の都合上、ご発言いただけなかったポイントなどがありましたら、ご意見・ご提案シートでご提供くださいますようお願いいたします。8月26日（金）までに事務局までにメールで送信ください。本日は、長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>オンラインでご参加の方はズームミーティングからのご退出をお願いいたします。</p> <p>以上で、会議を終了します、ありがとうございました。</p>